

事務事業名		総合交流ターミナル維持管理事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間	
	施策名	05 豊かな地域資源を活用した観光の振興					
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成9 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令						予算科目	
所属	部課名	農林水産部農林課				会計	
	課長名	菅原 博幸				款	
	係名	農政係				項	
	担当者	佐々木 智紘	電話	27-3111	目		
			内線	7124	事業		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事務事業区分	
・当市は「椿の里」として椿をギャッチフレーズとしたまちづくりが進められており、椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として総合交流ターミナル施設(世界の椿館・基石)が整備された。 ・地域の有利な気象条件を活かした花きの生産振興を図るとともに、同地区内の基石海岸と併せて、都市圏からの観光客の集客の向上を目的としている。 ・当事業は、総合交流ターミナル施設「世界の椿館・基石」の運営維持管理、入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を大船渡市農業協同組合に委託する事業である。						A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)						国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 入館料 千円 イ ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
大船渡市農業協同組合に入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を委託(人件費、施設管理費、花き維持管理費、車両維持管理費、光熱水費等)			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
前年度に同じ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大船渡市農業協同組合		名称 単位 カ 維持管理施設面積 m ² キ 来場者数 人 ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
施設の適正な管理を行い、多くの観光客に入館してもらう。		名称 単位 サ 本年度利用者数／前年度利用者数 % シ 苦情の件数 件 ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
大船渡市を訪れてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円	5,080	4,432	5,280	4,856	5,000	5,100
		一般財源	千 円	17,505	17,851	17,306	22,543	22,400	22,300
		事業費計 (A)	千 円	22,585	22,283	22,586	27,399	27,400	27,400
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	100	100	100	100	100	100
		人件費計 (B)	千 円	400	400	400	400	400	400
トータルコスト(A)+(B)		千 円	22,985	22,683	22,986	27,799	27,800	27,800	
⑤活動指標		ア	千円	5,171	4,432	3,770	3,900	4,000	4,100
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		力	m ²	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1
		キ	人	23,694	21,533	18,813	30,000	33,650	35,000
		ク							
⑦成果指標		サ	%	95.2	90.9	87.4	159.5	112.2	104.0
		シ	件	8	10	0	0	0	0
		ス							

事務事業ID	0529	事務事業名	総合交流ターミナル維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
「椿の里」として椿をキャッチフレーズとしたまちづくりが進められており、平成9年度に椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として当施設が建設された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
開館当初に比べると入場者は減少傾向にあり、特に椿の非開花時期の集客対策を講じている状況にある。(GW中の無料開館、花っこinおふなと、さつき展、寄せ植え体験教室の開催等)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
椿が開花していない時期の入館料無料化を望む意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	市は昭和58年に椿を市の花に制定し、それ以来「椿の里」づくりを推進している。市の花である椿をはじめとした花きに接する機会を増やすことにより、大船渡市のイメージシンボルとして「椿」が位置づけられるようになることによって、観光客が増大し、地域資源を活用した観光の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	大船渡市の観光のシンボルとして「椿」を定着させることによって、観光地としての大船渡をPRすることができ、観光産業だけでなく、花き生産地として複合的に振興を図ることができる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	大船渡市農業協同組合が施設を適正に管理できるようになること、椿館が魅力ある施設となること、利用者が施設をたくさん利用できるようになることが、それぞれ対象及び意図であることから、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	非開花時期のイベント開催やつばきまつりの旅行会社等への早期PRなどができれば、成果の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	基石の観光スポットが減少するため、観光地としての魅力が低下する。基石観光の冬場の重要な観光スポットであり、事業の廃止、休止は不可能。委託先は花き栽培等の専門性を有することが必要(農協への委託は妥当)。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	事業費は施設及び花きの維持管理費が中心となっているため、事業費削減が施設の質を低下させることにつながり、事業費の削減は適当でない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	入館料を指定管理者である大船渡市農業協同組合の収入とし、また、施設修繕に係る経費を指定管理料に含めるなどし、指定管理者の裁量により管理運営することで、業務時間を削減できる。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	受益者(入場者)から入場料を徴収している。入場料の額(通常一般個人500円・シーズンオフ一般個人200円)は適切であり、受益者負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 地方創生拠点整備交付金の活用により、苗管理用のバックヤード増築と既存施設内の遮光カーテンと温室開閉装置の改築を行ったため、椿にとって良好な生育環境が整えられた。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	今年度は増改築のため費用がかかったが、次年度以降は現状維持で継続する。入館者数の増に向けて更なる検討が必要。